

区分4	医療秘書科	授業科目名	医療知識	時間数	60時間 (30コマ)
開講時期	後期	担当教員	松田 一之	担当教員の 実務経験	有 無
◆実務経験の内容 1982年～長崎市立市民病院にて、病理検査、輸血・移植検査、免疫検査、微生物検査、緊急検査業務など検体検査全般を担当。1997年～長崎市立市民病院にて、循環器系検査、神経・筋機能検査、呼吸器系検査、感覚機能検査、画像検査など、生理機能検査全般を担当。2010年～長崎みなとメディカルセンター(旧長崎市立市民病院)にて、臨床検査部技師長業務の傍ら超音波検査など生理機能検査全般を担当。2015年～長崎みなとメディカルセンター事務部にて、診療報酬関連、病院経営管理などを担当。以上、39年間の病院勤務実績あり。					
◆授業の目的・目標 現場で求められる基礎的な医学知識の習得と、医療秘書検定3級・2級の合格。					
◆授業の概要・授業方針 医療秘書技能検定3級・2級の過去問を使って試験対策を実施する。 臓器別に機能と病態についてポイントを押さえる。					
◆テキスト・参考資料等 基礎医学(医療秘書教育全国協議会)			◆成績評価の方法 定期試験で評価する。		
授業計画					チェック欄
第1回	医療秘書検定対策(総論を中心に①)				
第2回	医療秘書検定対策(神経系・感覚器を中心に①)				
第3回	医療秘書検定対策(循環器を中心に①)				
第4回	医療秘書検定対策(血液を中心に①)				
第5回	医療秘書検定対策(運動器を中心に①)				
第6回	医療秘書検定対策(腎・泌尿器を中心に①)				
第7回	医療秘書検定対策(内分泌を中心に①)				
第8回	医療秘書検定対策(呼吸器を中心に①)				
第9回	医療秘書検定対策(消化器を中心に①)				
第10回	医療秘書検定対策(略語①)				
第11回	医療秘書検定対策(総論を中心に②)				
第12回	医療秘書検定対策(神経系・感覚器を中心に②)				
第13回	医療秘書検定対策(循環器を中心に②)				
第14回	医療秘書検定対策(血液を中心に②)				
第15回	医療秘書検定対策(運動器を中心に②)				
第16回	医療秘書検定対策(腎・泌尿器を中心に②)				
第17回	医療秘書検定対策(内分泌を中心に②)				
第18回	医療秘書検定対策(呼吸器を中心に②)				
第19回	医療秘書検定対策(消化器を中心に②)				
第20回	医療秘書検定対策(略語②)				
第21回	医療秘書検定対策(総論を中心に③)				
第22回	医療秘書検定対策(神経系・感覚器を中心に③)				
第23回	医療秘書検定対策(循環器を中心に③)				

第24回	医療秘書検定対策(血液を中心に③)	
第25回	医療秘書検定対策(運動器を中心に③)	
第26回	医療秘書検定対策(腎・泌尿器を中心に③)	
第27回	医療秘書検定対策(内分泌を中心に③)	
第28回	医療秘書検定対策(呼吸器を中心に③)	
第29回	医療秘書検定対策(消化器を中心に③)	
第30回	医療秘書検定対策(略語③)	